

2010年8月31日

国立大学法人金沢大学  
学長 中村 信一 様

金沢大学教職員組合  
執行委員長 喜成 年泰

## 附属学校園における入試問題作成に関わる手当の支給を求める申し入れ

貴職におかれましては、平素より金沢大学教職員の労働条件の改善に向けてご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、統一要求書（2009年12月21日提出）および団体交渉（7月9日実施）において附属学校における入試問題作成業務に関わる手当の支給を要求いたしました。以下の理由から、当該手当での支給を改めて要求いたします。

附属学校での毎年の入試問題作成業務は、一般公立学校の教員にはない仕事であり特殊な業務であると考えます。公立学校の入試問題作成が教育委員会の管理の下で専任の担当者により行われている状況を鑑みると、附属学校は極めて特殊な状況にあります。

現在、殆どの教員が当該業務を担当している状況にあります。しかしこれは、附属学校園の教員数が少ないこと、日常業務が極めて多忙であることに起因しており、殆どの教員が担当している現象のみによって、当該業務を本務とする（特殊勤務に該当しないとする）ことは極めて不適切な判断であると考えます。

附属学校は実験学校としての性質を有しているため、同学校園の教員は、普段から授業研究などのために極めて多忙な勤務状況となっています。通常業務に加えて、入試業務の重なる日は、学校へ泊りこむこともあります。

各附属学校園における入試問題作成の具体的な状況については別途資料にてご確認ください。

こういった状況を鑑み、社会通念に照らしまして、下記の通り要求いたします。至急ご検討の上、回答されることを求めます。

### 記

1. 附属学校園の入試問題作成に関して、大学入試と同等の手当を支給すること。
2. 2011年度入試から当該手当を支給すること。
3. 当該事項について組合との協議の場を早急に設けること。